

平成30年度老人保健健康増進等事業

介護ロボットの効果的な活用方法に関する研究事業

株式会社三菱総合研究所

介護ロボットの活用事例については、「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」における「介護ロボット導入活用事例集」等による周知がはかられているところであるが、個別の事例が紹介されるに留まっており、活用事例が統合され、どのような利用者に対し、どのように利用することにより、活用できるのかといった活用方法の整理までには至っていない現状がある。又、既に介護ロボットを導入している施設等においては、当初想定していた利用目的以外での活用事例も徐々に蓄積されているところである。

本事業においては、介護ロボットの効果が最大限発揮されるよう、介護業務における介護ロボットの効果的な活用方法を検討することを目的とした。

具体的に行った取り組みは、以下のとおりである。

- ① 学識者・有識者から構成する検討委員会を設置し、事業遂行において、活用事例集の網羅性、整理分析の妥当性、効果的な活用方法等の検討を行った。
- ② 介護ロボットの導入利活用事例を、報告書、書籍、インターネットサイト等から幅広く収集するとともに、開発メーカーおよび介護ロボットを導入利活用している施設等へのヒアリング調査を行った。
- ③ 収集・整理した情報に基づいて、対象利用者像、活用シーン等に応じた介護ロボットの効果的な活用方法を検討し、介護施設等関係者だけでなく広く一般を対象とした、効果的な介護ロボットの活用方法を整理した手引き（PDFデータ）を作成した。

検討成果は、有識者会議での検討を経て、「介護ロボットの効果的な活用のための手引き」（pdfファイル）としてとりまとめることができた。今後、厚生労働省HPや弊社HPなどを通じてインターネットで公開し、介護を行う全ての方に広く活用いただくことを期待したい。